

サビドメ効果

クリヤタイプ

非鉄金属に密着

塩害に強い

アサヒペン

これは便利

ガス抜きキャップ付

特許 No.2941761

New 回しやすい
パターン変更/スリット

鉄部用

クリヤコート

透明サビドメ

クリヤ

用途

鉄製品の扉・門扉・フェンス・自転車
ガーデン製品・銅・真鍮・アルミ・ステンレス
メッキなどの非鉄金属(金・銀などは除く)や鉄製品

ツヤあり

無鉛塗料
鉛・クロム化合物は
使用していません。

標準塗り面積
(2回塗り)

0.9~1.2㎡
タテ0.5~0.7枚分

乾燥時間

夏期/15~30分
冬期/30~60分

300ml

商品名 鉄部用クリヤコート スプレー
品名 ラッカー
成分 合成樹脂(アクリル)、ニトロセルロース、
有機溶剤

使用方法 ①塗る面のゴミ、油分、さび、カビ、ワックス等
をとります。さびは**サンドペーパー**や**ワイヤーブラシ**を
使って充分に取り除きます。②塗料がついて困る周
は、あらかじめ**フスキングテープ**等でおおいます。③使
用するときは、容器を充分に振り、よく混ぜます。使用中
もときどき振り回して中身をよく混ぜます。④塗料を
吹き付けるとき、塗る面と噴出口との間は20~30cm
の間隔をとります。⑤目立たない部分で試し塗りをして
噴射の状態、乾燥性、下地への影響・密着性などをよく
調べて、異質がないことを確かめてから塗ります。⑥**日
陰の上から塗装する場合は、日陰塗を極力避けて**あり
ますので、**特に注意が必要です**。⑦一度に厚塗りをしな
いで、塗る面と平行に移動しながら、ややうすめにま
んべなく2~3回ぐらゐ塗り重ねます。⑧使用後は、噴
口がつまらぬよう容器を逆さにして2秒くらい空吹き
し、噴出口をよす拭いてからキャップをします。⑨本品に
上塗りする場合は2時間以上乾燥させてから上塗り
して下さい。ラッカー系塗料を上塗りする場合はスプレー
塗装に限ります。

用具の手入れ方法 ラッカーうすめ液で洗って下さい。

危険



●引火性あり ●吸入すると有害 ●皮膚刺激 ●強い眼刺激
●腐食の障害 ●既製品・めいのおそれ ●水生生物に毒性

救急処置

●目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、
できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
●皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で
洗い落とし、痛みまたは外観に変化のある
ときは、医師の診察を受けて下さい。
●蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなっ
た場合には、空気の清浄な場所まで安静にし、
必要に応じて医師の診察を受けて下さい。

第2石油類135ml/危険等級Ⅲ/火気厳禁
合成樹脂クリヤ塗料 (L-031)

ガス抜きキャップの使い方

注意事項

①必ず中身を使い切ってから行っ
て下さい。
②**火気の近い、屋外で行って下さい**。
③塗料が飛び散っても産生しない
ことを行って下さい。
④容器が倒れないよう平らな場所
で行って下さい。

ガス抜きの方法

①スプレーから押しボタン
を引抜きます。ボタンを
引抜く
②キャップの内側に付いた
シュベラーを5~6枚詰
め、セロハンテープで浮
かないように止めます。



保管上の注意

1.幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食・いたす
をしないよう注意して下さい。
2.中身が漏れたら破裂する危険がありますので、漏った場所などサ
ビやすいところや、直射日光のあたるところ・自動車内・廃棄器具
の周辺などの温度が高くなるには注意しないで下さい。

取扱い上の注意

①表示の用途以外には使用しないで下さい。②貴金属・トタン屋根・
自動車の補修には適用しません。③亜鉛メッキ・クロムメッキ・スズメ
ッキ以外のメッキには適用しません。④アルミウムやアルミに塗装
の場合は、あらかじめ600~1000のサンドペーパーで研削して下
さい。⑤屋外の真鍮には適用しません。真鍮に塗る場合は真鍮を研削
しただけで塗って下さい。⑥絶えず水がかかったり、水につかるこ
ろやいつも濡れているところ、またテールの天面や床には適用しません。
⑦体障の害といきやアレルギー・化学物質に敏感な人は使用しない
て下さい。⑧取扱い中は必要に応じてマスクや保護メガネ、手袋(ポ
リ手袋など塗料が透過しないもの)を使用して下さい。炎症を起こ
すおそれがありますので、皮膚に触れないようにして下さい。また吸
い込んだり、目に入らないように注意して下さい。⑨有機溶剤が含ま
れ、おそれがありますので、皮膚に触れないようにして下さい。また吸
い込んだり、目に入らないように注意して下さい。⑩容器を捨て
る際には、容器下部の表示に従って中のガスと塗料を充分に抜き、他の
ゴミとは区別して捨てて下さい。⑪容器を捨てるときは中身が
吹き出すことがありますので取扱いには注意して下さい。

火気と高温に注意

高圧ガスを使用した可燃性の製品のため、危
険なため、下記の注意を守ること。

①炎や火気の近くで使用しないこと。②火気
を使用している室内で大量に使用しないこと。
③高温にすると破裂の危険があるため、直射
日光の当たるところや火気等の近くなど温度が
40度以上となる所に置かないこと。④火の
中に入れないこと。⑤使い切って捨てること。

高圧ガス:DME

③ 容器を立てた状態でキャップを逆
に、天面の穴をシステムに合わせて押
し込みます。キャップが固定されると
シューという音とともに
ガスと塗料が抜けはじめ
ます。2~3時間放置後、
缶には油性ペンで「ガス
抜き済」と表示し、キャ
ップと分別廃棄して下さい。



株式会社 **アサヒペン**

大阪市鶴見区鶴見4-1-12
http://www.asahipen.jp

フィルム:プラスチック(PP) ボタン:プラスチック(PE) **日本製**

お客様相談室 ☎ 06-6934-0300

キャップ:プラスチック(PP) 容 器: スチール 00-1401